4

進級要件・卒業要件・卒業見込証明書発行要件

(1) 進級要件

2年次から3年次へ進級する際に進級要件を設けています。

進級要件は次のとおりです。

- ① 2年以上在学していること。
- ② 卒業要件に算入される授業科目(千葉経済大学学則別表第1及び別表第2)から58単位以上修得していること。

3年次への進級要件=58単位以上の修得

(2) 卒業要件

卒業要件は次のとおりです。

- ① 4年以上在学していること(休学した場合、休学期間が含まれる年度については、在学期間としてみなさない)。
- ② 下表に示された単位数及び科目を修得していること。

令和7年度 入学者

【経済学科】

修得単位数	124単位以上			① 自由選択とは、教養科目群、専門科目群、ゼミナール科目群から、自由に選択する科目を示す。 ② 他大学における修得単位は、18単位までを自由選択にすることができる。	
124単位の内訳	教養科目群	必修	6単位		情報リテラシー基礎 キャリア・デザインⅠ・Ⅱ
		選択必修	6単位以上		建学の精神を学ぶ 基礎英語Ⅰ・Ⅱ 文章表現Ⅰ・Ⅱ 基礎数学Ⅰ・Ⅱ スポーツ実習Ⅰ
			2単位以上		プレ・インターンシップ キャリア・アップ 業界研究・企業研究
		選択	22単位以上 ^{※1}		
	専門科目群	必修	12単位		経済学入門Ⅰ・Ⅱ 経営学入門(マネジメント) 経営学入門(アカウンティング) ミクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅰ
		選択必修	10単位以上		経済経営数学基礎Ⅰ・Ⅱ 経済データ分析基礎 ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅱ 統計学Ⅰ・Ⅱ 計量経済学Ⅰ・Ⅱ ゲーム理論 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 経済学説史Ⅰ・Ⅱ 財政学Ⅰ・Ⅱ 公共経済学Ⅰ・Ⅱ 国際経済学Ⅰ・Ⅱ 金融論Ⅰ・Ⅱ 都市経済学 地域経済学
選択		32単位以上 ^{※2}			
ゼミナール科目群	必修	16単位	基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ プレゼミナール ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ		
自由選択		18単位			

※1 教養科目群の「コース関連科目」42科目については、教養科目群の卒業要件に含めることができるのは9科目18単位までとする。
 ※2 経済学科の専門科目として卒業要件に参入できる科目は、「経済学科(経済分野)」の科目区分の科目及び「卒業論文(経済)」とし、「経営学科(経営・会計)」の科目区分の科目は、経営学科の専門科目ではあるが、経済学科の専門科目として16単位までを卒業要件に参入することができる。16単位を超えた単位数は、自由選択として卒業要件に参入することができる。

【経営学科】

修得単位数	124単位以上			
124単位の内訳	教養科目群	必修	6単位	情報リテラシー基礎 キャリア・デザインⅠ・Ⅱ
		選択 必修	6単位 以上	建学の精神を学ぶ 基礎英語Ⅰ・Ⅱ 文章表現Ⅰ・Ⅱ 基礎数学Ⅰ・Ⅱ スポーツ実習Ⅰ
			2単位 以上	プレ・インターンシップ キャリア・アップ 業界研究・企業研究
		選択	22単位以上 ^{※1}	
	専門科目群	必修	12単位	経済学入門Ⅰ・Ⅱ 経営学入門(マネジメント) 経営学入門(アカウンティング) マネジメント概論 アカウンティング概論
		選択 必修	10単位 以上	経済経営数学基礎Ⅰ・Ⅱ 初級簿記Ⅰ・Ⅱ 経営戦略論Ⅰ・Ⅱ マーケティング論Ⅰ・Ⅱ 経営管理論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 経営組織論Ⅰ・Ⅱ 現代企業論Ⅰ・Ⅱ 中小企業論 財務会計論Ⅰ・Ⅱ 財務分析Ⅰ・Ⅱ 管理会計論Ⅰ・Ⅱ
		選択	32単位以上 ^{※2}	
ゼミナール科目群	必修	16単位	基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ プレゼミナール ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ ゼミナールⅣ	
自由選択		18単位		

①自由選択とは、教養科目群、専門科目群、ゼミナール科目群から、自由に選択する科目を示す。
②他大学における修得単位数は、18単位までを自由選択にすることができる。

※1 教養科目群の「コース関連科目」42科目については、教養科目群の卒業要件に含めることができるのは9科目18単位までとする。

※2 経営学科の専門科目として卒業要件に参入できる科目は、「経営学科(経営・会計)」の科目区分の科目及び「卒業論文(経営)」とし、「経済学科(経済)」の科目区分の科目は、経済学科の専門科目ではあるが、経営学科の専門科目として16単位までを卒業要件に参入することができる。16単位を超えた単位数は、自由選択として卒業要件に参入することができる。

令和6年度以前 入学者

【経済学科】

修得単位数	124単位以上			
124単位の内訳	教養科目群	選択	40単位以上	
	専門科目群	必修	12単位	経済学入門Ⅰ・Ⅱ 経営学入門Ⅰ・Ⅱ 初級ミクロ経済学 初級マクロ経済学
		選択	38単位以上 [※]	
	ゼミナール科目群	必修	16単位	基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ
	自由選択		18単位	

①自由選択とは、教養科目群、専門科目群、ゼミナール科目群から、自由に選択する科目を示す。
②他大学における修得単位数は、18単位までを自由選択とすることができる。

※ 経済学科の専門科目として卒業要件に算入できる科目は、「共通基礎分野」、「経済学科(コア分野)」、「経済学科(経済分野)」、「専門特別講義」及び「専門外書講読」の科目区分の科目とし、「経営学科(コア分野)」、「経営学科(経営分野)」、「経営学科(会計分野)」及び「専門関連」の科目区分の科目は、経営学科の専門科目ではあるが、経済学科の専門科目として16単位までを卒業要件に算入することができる。16単位を超えた単位数は、自由選択として卒業要件に算入することができる。授業科目年次配当表(令和2年度以降入学者適用 P61参照)

【経営学科】

修得単位数	124単位以上			①自由選択とは、教養科目群、専門科目群、ゼミナール科目群から、自由に選択する科目を示す。 ②他大学における修得単位数は、18単位までを自由選択とすることができる。
124単位の内訳	教養科目群	選択	40単位以上	
	専門科目群	必修	12単位 経済学入門Ⅰ・Ⅱ 経営学入門Ⅰ・Ⅱ マネジメント概論 アカウンティング概論	
		選択	38単位以上*	
	ゼミナール科目群	必修	16単位 基礎ゼミナールⅠⅡ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ ゼミナールⅢ	
自由選択		18単位		

※ 経営学科の専門科目として卒業要件に算入できる科目は、「共通基礎分野」、「経営学科(コア分野)」、「経営学科(経営分野)」、「経営学科(会計分野)」、「専門特別講義」及び「専門外書講読」の科目区分の科目とし、「経済学科(コア分野)」、「経済学科(経済分野)」、及び「専門関連」の科目区分の科目は、経済学科の科目ではあるが、経営学科の専門科目として16単位までを卒業要件に算入することができる。16単位を超えた単位数は、自由選択として卒業要件に算入することができる。授業科目年次配当表(令和2年度以降入学者適用 P61参照)

<学位の授与>

卒業の要件を備えた者を認定し、その者に「卒業証書・学位記」を授与する。本学経済学科を卒業した者には「学士(経済学)」の学位を、本学経営学科を卒業した者には「学士(経営学)」の学位を授与する。

(3) 卒業見込証明書の発行要件

①卒業見込証明書とは

4年次では、就職活動や進学のために「卒業見込証明書」が必要となる場合があります。卒業見込証明書が発行されるためには発行要件が定められており、それを満たしていない場合は、卒業見込証明書は発行されません。「卒業見込証明書」は、卒業できることを保証するものではありません。また、「卒業見込証明書」が発行されないからといって、卒業できないというものではありません(単位の修得状況により異なります)。あくまでも3年次までの単位修得状況と4年次での履修状況を考慮し、4年次で所定の単位を修得すれば、卒業できる見込みがあることを表す証明書です。

②卒業見込証明書の発行要件

卒業見込証明書の発行要件は次のすべてを満たしていることです。

- ・3年次までに下表に示された単位数及び科目を修得していること。
- ・4年次に卒業に必要な単位数を履修していること。

令和7年度 入学者

	経済学科	経営学科
単位数	90単位以上	90単位以上
必要単位 (90単位の内訳に 必ず含む科目)	情報リテラシー基礎 キャリア・デザインⅠ・Ⅱ 経済学入門Ⅰ・Ⅱ 経営学入門(マネジメント) 経営学入門(アカウンティング) ミクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅰ 基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ プレゼミナール ゼミナールⅠ・Ⅱ	情報リテラシー基礎 キャリア・デザインⅠ・Ⅱ 経済学入門Ⅰ・Ⅱ 経営学入門(マネジメント) 経営学入門(アカウンティング) マネジメント概論 アカウンティング概論 基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ プレゼミナール ゼミナールⅠ・Ⅱ

令和6年度以前 入学者

	経済学科	経営学科
単位数	90単位以上	90単位以上
必要単位 (90単位の内訳に 必ず含む科目)	経済学入門Ⅰ・Ⅱ 経営学入門Ⅰ・Ⅱ 初級ミクロ経済学 初級マクロ経済学 基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ ゼミナールⅠ・Ⅱ	経済学入門Ⅰ・Ⅱ 経営学入門Ⅰ・Ⅱ マネジメント概論 アカウンティング概論 基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ ゼミナールⅠ・Ⅱ